

ボランティア

お世話になりました!

「シーツ交換」
・如月会様

令和3年八月以降、お世話にな
った地域の皆様、ボランティアの方
をご紹介いたします。



寄付・寄贈

ありがとうございます

善意の寄付に対し心より
お礼申し上げます



理事長 大倉美知男様より
・利用者へ金一封

厨房だより



献立表

寿司バイキング:
太巻きずし、押しずし、握りずし5種
(エビ、マグロ、サーモン、穴子、玉子)
お吸い物: 花麩とえのき茸のおすまし
小 鉢: ほうれん草と三つ葉の磯和え
フルーツ: フルーツカクテル

あさひ園の新年会に合わせ、昼食で寿司バイキングを行いました。新年の華やかな雰囲気を感じていただけるよう、大皿に握りずし、巻きずし、押しずしを盛り合わせ、好きなものを選んでいただけるようにしました。

巻きずしの具を卵、ほうれん草、アナゴなどやわらかい具を使い、海苔は噛み切りづらいこともあり、卵を薄焼きにして海苔の代わりにしました。握りずしは普通のものとは別に刻み食の方も食べていただけるよう、ネタを刻みにして握りました。

入所者に少しでも喜んで頂くためにおいしい食事を提供できるよう努めていきたいと思っております。

編集後記

明けましておめでとうございます。昨年同様、感染症予防対策による面会制限等、ご家族様やボランティア等地域の皆様にはご不便をおかけしております。行事委員会広報担当部では、利用者様の日頃の様子や行事の様子、各種情報などできる限り便りまたHPにてお伝えしてまいりますのでご意見、ご要望などありましたら遠慮なくご連絡ください。本年もよろしくお願ひ致します。



行事予定

3月9日(水)

ひなまつい会

感染症予防対策のため園内
利用者様のみで行います。

※日時は変更になることがあります



苦情受付

※ご意見・ご要望等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

苦情解決責任者
施設長 岡崎浩明
苦情受付担当者
生活相談員 麻原拓也
介護支援専門員 佐々木真由美



<新年のご挨拶>



令和4年、新年おめでとうございます。皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えの事とお慶び申し上げます。

旧年中は旭福社に対して、ご利用者様並びにご家族様、地域の皆様、行政関係各位からの温かいご支援とご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

一昨年前よりの新型コロナウイルスの流行により施設の運営形態が一変し、感染予防対策の徹底、面会の制限、職員の行動制限等を引き続き行っていました。

特に現在世界的にオミクロン株による爆発的な蔓延が起こり、当地域に於いても感染が拡大しています。ご利用者、ご家族様にはWEB面会等で引き続きご迷惑をおかけいたしますが、感染抑制のためご協力をお願いいたします。

さて、福祉行政関係では、自立支援・重度化防止の取組の推進が制度として導入されており、介護サービスの質の評価と科学的介護の取組の推進が求められています。

その実行ツールの一環として「LIFE」(厚労省の専用システム)の活用による情報の収集とPDCA(Plan(計画)・Do(実行)・Check(評価)・Action(改善)のプロセスの繰り返し)の実施を進めてまいります。

併せて介護業務等の見直しを図るため、介護記録ソフトの更新を行い業務の効率化、IT化を進めてまいります。

旭福社では、ご利用者様の生活を第一に役職員が一丸となり、今一層のサービスの向上に取り組みまた、介護人材の確保、人材の育成はもちろん、社会福祉法人に課せられている使命としての地域貢献活動も積極的にすすめて参ります。

今後とも皆様の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、新年あさひ園だよりの挨拶といたします。

特別養護老人ホームあさひ園
施設長 岡崎浩明

三年間ありがとう!!



中山間地域における高齢化と人口減少による人手不足を危惧し、地域課題の解消と実習生への技術移転といった国際貢献にも積極的に取り組んでいこうという思いで取り入れた新しい制度『外国人技能実習制度』により、平成31年4月1日にインドネシアから2名の実習生を迎えスタートしました。慣れない異国の地において1名は早期に帰国されたり、コロナ禍で研修や実習、地域交流などが思うように行かなかったりと大変でしたが早いもので今年の3月には3年間の実習期間を終えてインドネシアに帰国いたします。右頁には今回あさひ園での研修を終えた“サルティカ”職員の日本語習得度を見ていただくために直筆の文章をそのまま掲載いたしました。三年間、本当にお疲れさまでした…。



令和3年度下期ダイジェスト



初めてあさひ園に来た時に何も分かりませんでした。

日常生活や文化や習慣などがインドネシアとちがうので覚えて

大変でした。一番おもしろいのは言語です。その時に本当に不安でしたが皆さんが優しくしてくだ

さで安心する事が出来ました。まだ慣れていないので現場で仕事の初めは大変でした。

日本人の話しを聞く時に何か話しているか分からない事が多かったです。最初はとても

大変でしたが慣れたら他のスタッフや利用者さんと普通に話せる事が出来て楽しくなりました。

利用者さんと話す時は日本の文化や日本の習慣や日本料理についてよく教えてくれました。

時々インドネシアの事も聞いてくれました。利用者さんが方言をよく使っているのでもっと

おもしろかったです。勉強になりました。分からない単語があったらスタッフに聞いたら

教えてくれました。指導員と他のスタッフが現場で少しずつ仕事の流れと介護で使う

言葉を教えてくれました。皆さんのおかげで今は仕事に慣れて来ました。皆さんいつも優しく

教えてくれてありがとうございます。インドネシアに戻って家族と会えるので嬉しいです。

皆さんとはなれる事は寂しいです。インドネシアに戻ってからクリニックを

建てたいし、あさひ園で勉強した事を教えていきたいです。

また日本に来たいので皆さん元気になって下さい。また会いましょう。

サルティカ

